令和8年度　中宮祠小中学校　小中一貫教育グランドデザイン



《 心身ともに健康で、創造力に富む児童生徒の育成 》

【　学校教育目標　】

◇　**たくましい子**　　**（体）**

◇　**思いやりのある子**　**（徳）**

◇　**自ら学び続ける子（知）**



【目指す学校像】

子どものために全力を尽くす学校

○４つの「あ」の実践

「ありがとう」「あいてのために」「あきらめない」「あたりまえ」

【目指す児童生徒像】

持続可能な社会の担い手になるために力を尽くす児童生徒　～ESDの推進～

○自ら鍛え、心身ともにたくましい子

○互いに認め合い、思いやりあふれる子

○夢や希望をもち、主体的に学習する子

【目指す教師像】

互いを尊重し自律する営みを支援し続ける教師

○互いを尊重し教師力磨き合う教師

○児童生徒、保護者に寄り添える教師

○よりよい学校づくりのために協働する教師

◆　９年間で育む資質能力・具体的取り組み内容

	年代	○自ら鍛え、心身ともにたくましい子（体）	○互いに認め合い、思いやりあふれる子（徳）	○夢や希望をもち、主体的に学習する子（知）	○地域に感謝し、地域から学ぶ子（家庭・地域連携）
前期	小1 小2 小3 小4	○安全に気をつけて生活することができる。 ・良く食べて良く寝ることができる。 ・元気に遊んだり運動したりすることができる。 ・好き嫌いしないで何でも食べる。	○仲間となかよくできる ・あいさつができる ・助け合うことができる	○基本的な学習習慣を身につけ、自分に自信を持つことができる ・学ぶことの楽しさに気づき、自ら学習することができる。 ・人の話をきちんと聞き、自分の考えを他者に分かりやすく話すことができる。	○家の人や地域の人にあいさつができ、感謝を伝えることができる。 ・登校時のあいさつが気持ちよくできる。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える。 ・地域の学びに関心をもつことができる。
	取組内容	・生活リズムの啓発 ・早寝早起き朝ごはんの奨励 ・給食指導の励行 ・避難訓練、防犯教室、交通安全教室の工夫 ・食育の推進	・教職員間で共通理解し、指導する。 ・体験活動の充実 ・あいさつの励行 ・人権意識を高める取組の充実 ・読書活動の推進 ・心に響く道徳教育の実践 ・帰りの会で友達のよいところを発表させる。	・教材研究に励み、授業内容の精査・更新 ・授業内での声かけ、発表の場面を多くつくる。 ・チーム担任制の推進 ・確かな学力を育む授業の実践 ・言語活動の充実 ・さちの子タイムの充実	・家庭学習強化期間 ・総合、フェスティバルでの発表 ・地域に学ぶ体験活動の実施（地域探検、見学など） ・学校運営協議会で目標を共有 ・学校流失追悼式・クリーンキャンペーン等の地域学校協働活動の推進
中期	小5 小6 中1	○主体的に規則正しい生活ができる。 ・食と健康の関係を理解する。 ・運動の楽しみを感じることができる。 ・危険を予測、回避できる。	○相手のことを考えて行動することができる。 ・友達のよさを認め、協力することができる。	○挑戦することができる。 ・学ぶことの楽しさを理解し、自ら学習に取り組むことができる。 ・相手の意図をつかんで聞き、目的に応じて、様々な手段を通して意見や考えを他者と伝え合うことができる。	○地域の資源や働く人に興味をもち、自分にできる役割に気付くことができる。 ・地域への感謝の気持ちから、自分にできることはないか考えることができる。
	取組内容	・保健指導の推進 ・体育指導の充実 ・ミヤマタイムの充実	・道徳でいろいろな考えを認め合わせる。 ・児童生徒会の充実	・様々な発表場面を設定し、場に応じた発表の方法を考えさせる。 ・自主学習の内容に対する肯定的なフィードバックをおこなう。	・地域に学ぶ体験活動の実施（総合的な学習など） ・総合、フェスティバルでの発表の充実
後期	中2 中3	○自分の心と体と向き合い理解し、生活することができる。 ・休養と栄養の必要性を考えて生活を見直すなど、自己管理・調整することができる。 ・自分の課題を意識し、目標達成のため、主体的に運動することができる。 ・危機に対し判断力、対応力を身に付けることができる。	○自他の良さを認め、高め合える人間関係を築くことができる。 ・集団の一員としての自覚をもち、社会に貢献することができる。	○自主自律的な行動を取ることができる。 ・学ぶことの必要性に気付き、学習のやり方を工夫して、主体的に学ぶことができる。 ・目的に応じた話し方、聞き方ができるようになる。	○地域や社会の課題に関心をもち、協働して行動できる。
	取組内容	・食育の推進 ・生活習慣改善の啓発（家庭との連携）	・学校行事におけるリーダーシップを育成 ・進路と結び付けた自己理解（学活等）を充実させる。	・自分の意見を述べるような余白を残す。 ・生徒が主体となるよう見守り、生徒の自発的な行動を支援する。 ・クロスカリキュラムを工夫した授業づくりで学ぶ必要性の気づきや自発的な要求を促す。 ・自由進度学習の推進	・学校流失追悼式・クリーンキャンペーンでの役割、自主的に活動・マイチャレ（提案・発信） ・総合、フェスティバルでの活動発表及び地域貢献の充実

◆　評価項目・評価指標

評価方法		
評価指標	前期	学校評価（生徒・保護者）の結果と分析
	中期	学校関係者評価及び保護者、児童生徒アンケートの結果と分析と活用 日常の授業の評価（週案・授業観察等）
	後期	学校評価（自己評価）の結果と分析